

11月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	枚方大橋付近～三川合流点付近（大阪府・京都府境界） （左岸25.8km～34.6km）		
モニター実施日時	令和元年11月24日（日） 15時頃～16時半頃		
天 候	曇り		

（見出し）

今月は、枚方大橋付近（左岸25.8km）～牧野橋付近（穂谷川合流地点）（左岸30.5km）の4.7kmについてモニターしました。

危険・迷惑行為（自転車危険運転）・利用者のゴミの投棄について報告します。

モニター時は日曜日の夕方で、河川公園で休日を楽しんだ後の帰路につく車が行列をなしていました。



図：帰宅する車列

子供達のサッカーも終盤戦のようでした。子供は風の子とはよく言ったもので、寒空の下でも元気いっぱいでした。応援する家族や友人も温かく見守っていました。



図：サッカー中の子供達

川の様子は穏やかで、水位観測所の建物も変わらず川を見守ってくれていました。



図：枚方大橋と水位観測所

日曜日とはいえいつもより車が多いなと思っていたら、バーベキューをしていた団体やカイトを揚げて遊んでいる家族だけでなく、この日はドラッグストア主催のウォーキングイベントが行われていたようでした。



図：ウォーキングイベント

再び川に目を向けると、ススキ越しに舟が通るところでした。景色に馴染んでいて、とても画になります。舟運イベントでしょうか。私も乗ってみたいです。



図：秋の舟運イベント

河川公園内の植物も綺麗に整えられていて、利用する側としては散歩するにも遊ぶにも気持ちが良いです。



図：整えられた花々

川をよく見つめていると魚影が沢山見えました。付近には鳥もいました。淀川資料館に魚や鳥のことは詳しく書いてありますね。人間だけでなく動植物にとっても大事な川なのだと感じられました。



図：淀川に生きる魚と鳥

—危険行為とゴミの投棄について—

付近には並走自転車が3組いました。たださえ利用者が多い中、ボールやカイトで遊ぶ子供達が不意に原っぱから道の部分に出てしまったりするので道幅を占領して並走するのは危険だと感じました。

ゴミは柵の向こうの簡単に立ち入れない範囲に発泡スチロールの梱包ゴミが投げ捨てられていたことと、バーベキュー場のすぐ横の茂みにチューハイ缶が投げ込まれていました。楽しく利用するのはとてもいいことですが最後まできちんと片づけをしてほしいです。



11月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

11月分のレポート有り難うございました。

モニターしていただいた日のようにこれからの季節、淀川では様々なマラソン大

会等のイベントが数多く実施されます。

大都市近傍の貴重なオープンスペースとし淀川は多くの方々に利用されています。

阪神淡路震災時は陸上交通が麻痺したことで河川管理施設の復旧に時間を要してしまいました。

震災時等のため、京都・大阪を結ぶ緊急用河川敷道路を整備し、主要幹線道路とつなげています。

また、緊急用河川敷道路沿いに船着き場を設け、震災時等の輸送に水上交通においても対応できるように整備しています。

かつて淀川の舟運は大阪と京都を結ぶ大動脈として機能していました。

しかしながら、明治以降は鉄道等の発達に伴い淀川の舟運は衰退の一途を辿っていました。

近年、舟運再生の機運が高まっており、大阪天満橋から枚方間の定期観光船や三川合流付近での花見船など利用が活性化しています。

観光立国の推進、地域活性化の実現に向け、水辺を活かした賑わいづくりを支援していきます。

並走する自転車、道幅を占領してとても危険ですね。

淀川の河川敷にある道は自転車専用道ではありません。

災害時の緊急輸送を目的とした緊急河川敷道路や公園の園路、自転車歩行者専用道です。

自転車で走行する際には歩行者や他の利用者に配慮し、安全なスピードで走行してほしいものです。

それでは12月のレポートをお待ちしております。